

コンビ フルリクA

FF-389 取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、使用方法を正しく理解してから製品をご使用ください。

取りはずしてある部品は、本書をよく読んで取り付けてください。

また、本書はいつでも見られる場所に大切に保管してください。

本品を他のお客様にお譲りになるときは、必ず本書もあわせてお渡してください。



安全基準 A 型
(2ヵ月～2才まで)

目次

ご使用の前に	1	●ハンドルの使い方	10
安全にお使いいただくために	1	●シートベルト(股ベルト・腰ベルト)の 使い方	11
▲警告	1	●足のせの使い方	12
▲注意	3	●折りたたみ方	12
各部のなまえ	4	●保管のしかた	13
組み立て方	5	●日常のお手入れ	13
●開き方	5	●車体の清掃について	13
●アームレストカバーの取り扱い方	6	●縫製品の洗濯について	13
●フロントガードの取り扱い方	7	●シートの取りはずし・取り付け方	13
●フロントカバーの取り扱い方	7	●点検について	14
●日除けの取り扱い方	8	●注油について	14
●買い物カゴの取り扱い方	8	オプション品(別売)	14
使い方	9	品質保証書	15
●ストッパーの使い方	9	SG マークの被害者救済制度	15
●キャスターの使い方	9		
●リクライニングの使い方	10		

ご使用の前に

この製品は、一般家庭で乳幼児を乗せ、外気浴、日光浴、買い物などに使用するための一人乗り乳母車（ベビーカー）です。

- 対象年齢：生後2カ月以上満2才まで
- 望ましい連続使用時間：2時間以内

安全にお使いいただくために

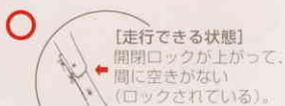
製品を使用する上でご理解いただきたい警告および注意事項を記載しています。ここに記載した内容を無視した場合、お子さまおよび保護者の方が重大な傷害を被る恐れがあります。よくお読みの上、製品をご使用ください。



警告

取り扱いを誤ると、重大な事故につながる恐れがあります。

- 乳幼児が落ちたり、ベビーカーが折りたたまれる恐れがあります。



開閉構造やハンドル切り替えのロックが確実にかかっていること（完全に開いた状態であるか）を確認してからご使用ください。



乳幼児を乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりする恐れがあります。



階段、エスカレーター、段差のあるところでは使用しないでください。また、砂場、砂浜、河原、ぬかるみなどの悪路では使用しないでください。



破損、異常が発生した場合は、即座に製品の使用を中止してください。そのまま使用すると、重大な事故につながる恐れがあります。

破損、異常の状況を、すぐにお客様相談室にご連絡ください。

お客様相談室 / 〒339 埼玉県岩槻市鉤上新田271
TEL. (048)797-1000

● 乳幼児が落ちる恐れがあります。



股ベルト・腰ベルトを必ず締めて使用してください。 乳幼児をベビーカーの中で立たせないでください。

● ベビーカーが転倒して、乳幼児が落ちる恐れがあります。



ベビーカーに同時に二人以上の乳幼児を乗せないでください。また、乳幼児をシート以外のところに乗せないでください。

乳幼児を乗せているとき、カゴ以外のところに荷物を乗せたり、つるしたりしないでください。

ベビーカー使用中に、ハンドルによりかかったり、過度の荷重をかけないでください。

● ベビーカーが動き出したり、転倒する恐れがあります。



乳幼児や荷物を乗せたときには、ストッパーを過信しないでください。

ベビーカーは、空車であっても坂の途中、車道に近い歩道上など、危険な場所に放置しないでください。

乳幼児を乗せたまま、ベビーカーから離れないでください。

安全にお使いいただくために



注意

取り扱いを誤ると傷害を負ったり、ベビーカーが破損する恐れがあります。

- シートやアームレストカバーを取りはずしたまま、乳幼児をベビーカーに乗せないでください。すき間に手や足などをはさむ恐れがあります。
- 幼児、子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や、思わぬ事故につながります。
- ベビーカーの開閉やリクライニング操作時には、他の人に触れさせないでください。指をはさんだりする恐れがあります。
- 空車であっても、フロントガードをもってベビーカーを運ばないでください。ベビーカーが急に折りたたまれたり、フロントガードがはずれたり、手がすべってベビーカーが落下する恐れがあります。
- 乳幼児を乗せる以外の目的でベビーカーを使用しないでください。ベビーカー本来の目的以外に使用すると、破損する恐れがあります。
- ベビーカーに大人が腰かけたり、過度な荷重を加えないでください。破損、故障の原因となります。
- ベビーカーを押すときは歩いてください。走ると、キャスターの動きが悪くなったり、事故につながる恐れがあります。
- 買い物カゴには重い荷物を入れないでください。カゴ取り付けホルダーが破損する恐れがあります。
- 踏切を渡るときは、できるだけ線路に直角に進んでください。ななめに渡ると、車輪を取られたり、線路のミゾに車輪がはさまる恐れがあります。
- 雪が積もっているところや凍結したところなど、すべりやすい路面では使用しないでください。ベビーカーだけでなく、保護者も転倒する恐れがあります。
- 風の強いときはベビーカーを使用しないでください。ベビーカーが勝手に動き出したり、転倒する恐れがあります。
- 雷のときは使用しないでください。ベビーカーに落雷する恐れがあります。
- 火の近くや、高温になる場所にベビーカーを放置、保管しないでください。故障、変形の原因となります。
- 荷物などを重ねたり、圧力が加わるような状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- むやみにベビーカーを改造、分解をしないでください。故障の原因となるだけでなく、けがをする恐れがあります。
- ベビーカーを使用する前に、ネジやナットがゆるんでいないか確認してください。もしゆるみがあったら、ベビーカーの使用を中止し、お客様相談室にご連絡ください。

組み立てる前に、裏表紙「品質保証書」に次の項目を記入してください。

- LOT NO. (背もたれの裏側に貼ってあるシールに記載されています)
- お客様のお名前・ご住所・電話番号
- お買い上げ日
- 販売店名

組み立て方

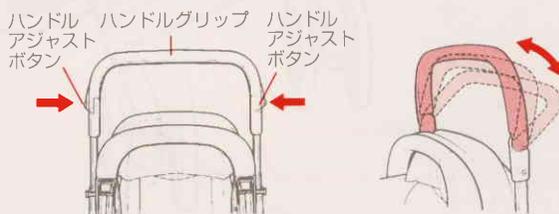
フルリク A の組み立て方を説明します。ご使用前に、アームレストカバー、フロントガード (またはガードキャップ) を必ず取り付けてください。この 2 つの部品を取り付けるまでは、フルリク A を使用しないでください。続けて、フロントカバー、日除け、買い物カゴを取り付けてください。

開き方

⚠ 注意

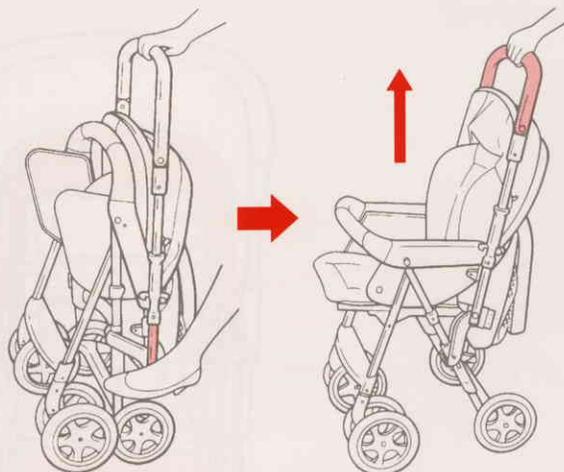
- ベビーカーを開くときは他の人に触らせないでください。手をはさむ恐れがあります。
- 子供にベビーカーを操作させないでください。転倒や思わぬ事故につながる恐れがあります。

① ハンドルグリップの左右のアジャストボタンを同時に押しながら、ハンドルグリップを起こしてまっすぐにしてください (梱包時はハンドルグリップが折り曲げられています)。



② 左右の開閉ロックを、つま先で片方ずつ押し下げてください。ベビーカーのロックが解除され、開ける状態になります。

③ ハンドルグリップを握り、ベビーカーを持ち上げてください。または、アームレストの先端を手で押し下げてください。ベビーカーが開きます。



(上の図では、各部品を取り付けた状態で説明しています)

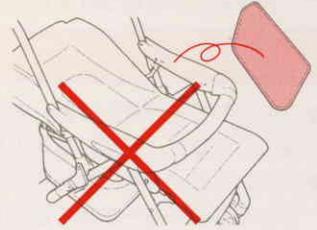
以上でベビーカーの開き方は終わりです。

アームレストカバーを取り付けていない場合は、続けてアームレストカバーを取り付けてください。

アームレストカバーの取り扱い方

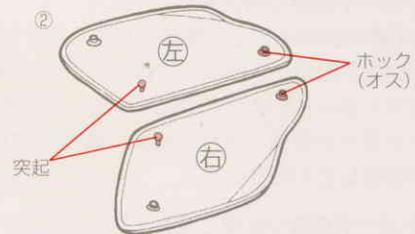
⚠ 注意

- アームレストカバーを取りはずした状態で、お子さまをベビーカーに乗せないでください。すき間に手や足をはさむ恐れがあります。
- 破れやほつれが発生したアームレストカバーは使用しないでください。アームレストカバー内のウレタンをお子さまが飲み込む恐れがあります。
- ベビーカーを使用する前に、アームレストカバーが正しい位置に取り付けられているか確認してください。正しい位置に取り付けられていない状態で背もたれを上げると、アームレストカバーは変形します。

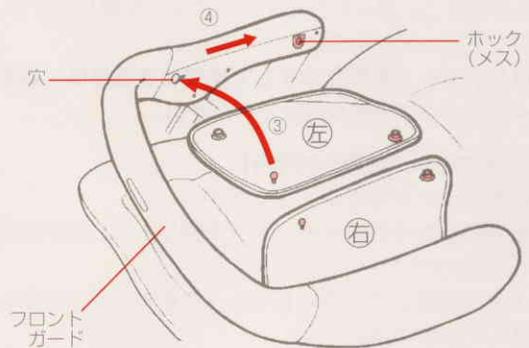


【取り付け方】

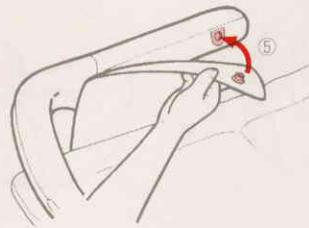
- ① 10 ページ「リクライニングの使い方」を参照して、背もたれを一番寝かせた位置まで倒してください。
- ② アームレストカバーの左右を確認してください。



- ③ アームレストカバーの白い突起を、アームレスト前方（フロントガード側）の内側の穴に差し込んでください。
- ④ アームレストカバーを背もたれ側に水平にスライドさせてください。



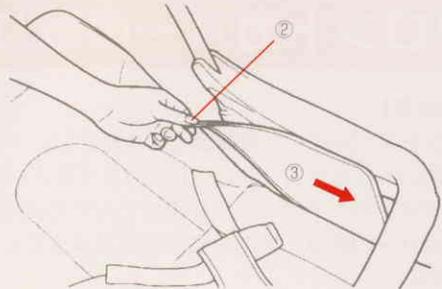
- ⑤ アームレストカバーのホック（オス）をアームレストのホック（メス）にとめてください。



アームレストカバーを取り付けたら、続けてフロントガードを取り付けてください。

【取りはずし方】

- ① 10 ページ「リクライニングの使い方」を参照して、背もたれを一番寝かせた位置まで倒してください。
- ② アームレストカバーのホック（オス）をアームレストからはずしてください。
- ③ アームレストカバーを水平にスライドさせてください。アームレストカバーがはずれます。



（上の図では、フロントガードを取り付けた状態で説明しています）

フロントガードの取り扱い方

警告

ガードキャップを取りはずしたまま放置しないでください。お子さまが飲み込んで窒息する恐れがあります。

注意

- フロントガードまたはガードキャップは確実に取り付けてください。取り付けが不完全な場合、お子さまが指をはさんだりガード穴に指を入れたりしてけがををする恐れがあります。
- フロントガードをつかんでベビーカーを持ち運ばないでください。手がすべったり、フロントガードがはずれたりしてベビーカーが落ちる可能性があります。

【フロントガードの取り付け方】

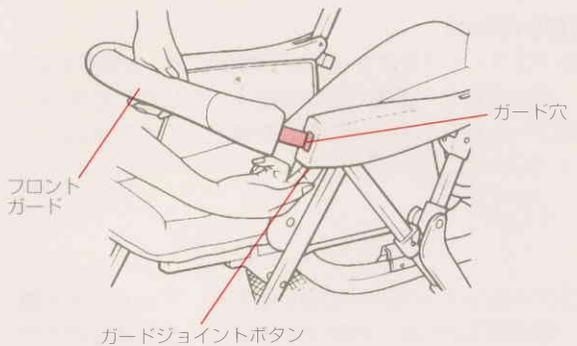
- ① 正面のCOMBIで上下を確認してください。
- ② アームレストのガード穴に、「カチッ」と音がするまでフロントガードをまっすぐに差し込んでください。
- ③ フロントガードを引っ張り、確実に取り付けられたことを確認してください。

【フロントガードの取りはずし方】

左右片方ずつ、ガードジョイントボタンを押しながら、フロントガードを引き抜いてください。
フロントガードを取りはずして使用する場合は、必ずガードキャップを取り付けてください。

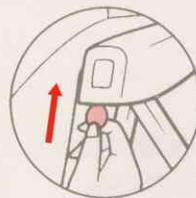
【ガードキャップの取り付け方】

- ① 座面のシートをめくってください。
- ② 座面の裏からガードキャップを押し上げて取りはずしてください。
- ③ 上下を確認して、ガードキャップをガード穴に差し込んでください。



【ガードキャップの取りはずし方】

- ① 下図のように、コインをガード穴の下から「カチッ」と音がするまで差し込んでください。ガードキャップがはずれます。
- ② 座面のシートをめくり、取りはずしたガードキャップを、座面の所定の位置に取り付けてください。



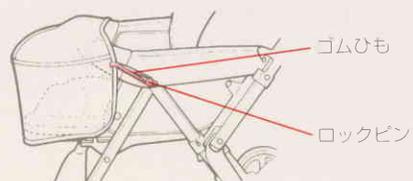
フロントカバーの取り扱い方

【取り付け方】

- ① フロントカバーの上下を確認してください。
- ② 左右のゴムひもをロックピンにかけてください。
- ③ 足のせとフロントガードにかぶせてください（フロントカバーの底は、足のせの下になるようにしてください）。

【取りはずし方】

左右のロックピンから、ゴムひもをはずしてください。



日除けの取り扱い方

【取り付け方】

- ①日除けの前後を確認してください。
- ②図Aを見て、左右のジョイント部を差し込んでください。

【ひろげ方】

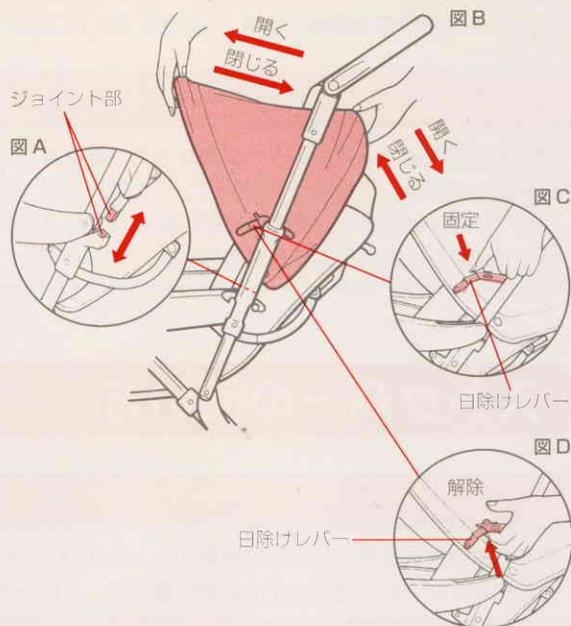
- ①図Bのように、日除けを開いてください。
- ②図Cを見て、日除けレバーを指で押し下げてください。日除けが固定されます。

【たたみ方】

- ①図Dを見て、日除けレバーを指で押し上げてください。日除けの固定が解除されます。
- ②図Bのように、日除けを閉じてください。

【取りはずし方】

- ベビーカーをおさえながら、図Aを見て左右片方ずつ日除けのジョイント部を引き抜いてください。



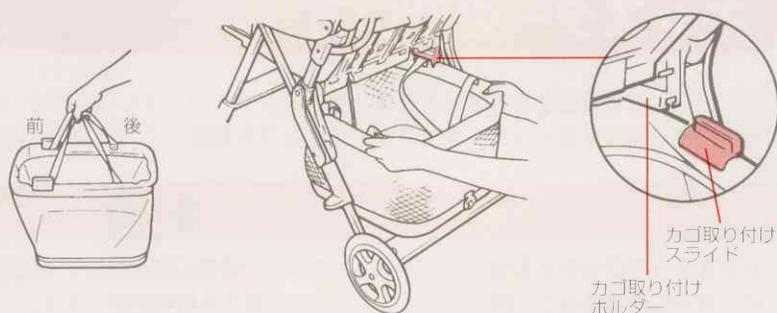
買い物カゴの取り扱い方

⚠ 注意

- 角のとがった荷物を入れないでください。買い物カゴが破れる恐れがあります。
- 重い荷物を入れないでください。カゴ取り付けホルダーが破損する恐れがあります。

【取り付け方】

- ①図を見て、買い物カゴの前後を確認してください。
- ②左右片方ずつ、カゴ取り付けスライドを「カチッ」と音がするまでカゴ取り付けホルダーに差し込んでください。

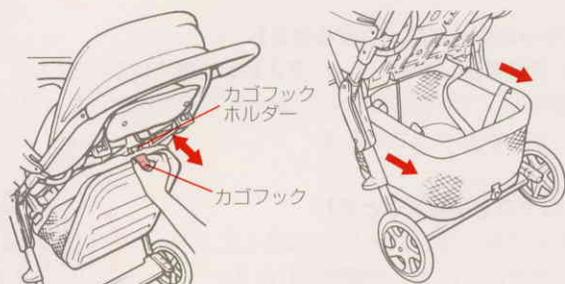


【たたみ方】

- 買い物カゴを使用しないときは、カゴフックを背もたれ背部のカゴフックホルダーにかけてください。

【取りはずし方】

- ①カゴフックホルダーからカゴフックをはずし、買い物カゴを開いてください。
- ②ベビーカーをおさえながら、左右片方ずつ強く引き抜いてください。



使い方

フルリクAの使い方を説明します。「組み立て方」に沿って部品を取り付けてから、フルリクAを使用してください。

警告

開閉構造およびハンドルロックがかかっていることを確認してから、フルリクAを使用してください。ロックがかかっていない状態で使用すると、フルリクAが急に折りたたまれる恐れがあります。



【走行できる状態】
開閉ロックが上がって、
間に空きがない
(ロックされている)。



【走行してはいけない状態】
開閉ロックが下がって、
間に空きがある
(ロックされていない)。

ストッパーの使い方

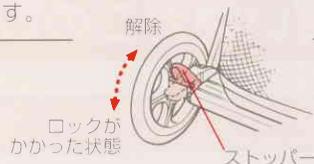
警告

お子さまや荷物を乗せた状態で停車するときは、ストッパーをかけていてもベビーカーから離れたり目を離したりしないでください。お子さまや荷物の重さで、ベビーカーが動き出したり転倒する恐れがあります。

注意

空車であっても、ベビーカーから離れるときは必ず左右のストッパーをロックしてください。ストッパーをロックしないと、ベビーカーが動き出す恐れがあります。

ストッパーにロックをかけるとき、ストッパーを下に降ろしてください。
ロックを解除するとき、ストッパーを上げてください。



キャストターの使い方

坂道や凹凸のある路面を走行するときは、キャストターをロックしてください。ベビーカーが押しやすくなります。平坦な路面を走行するときは、キャストターのロックを解除してください。方向転換しやすくなります。

注意

キャストターをロックする場合、図を参照して正しい位置にロックしてください。正しい位置にロックしないでベビーカーを使用すると、押しづらだけでなく故障する恐れがあります。

【キャストターをロックするとき】

- ① 図を参照してキャストターを正しい位置にしてください。
- ② キャスターロックレバーを上げてください。キャストターがロックされます。



【ロックを解除するとき】

キャストターロックレバーを降ろしてください。ロックが解除されます。



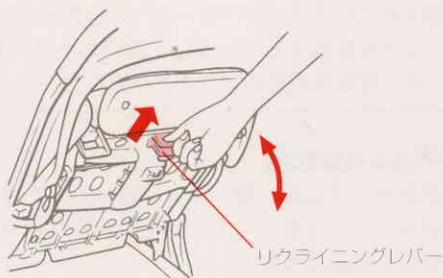
リクライニングの使い方

背もたれのリクライニング角度は4段階の調整ができます。お子さまの様子にあわせて角度を調整してください。

⚠ 注意

- お子さまを乗せた状態でリクライニング操作をするときは、静かに操作してください。勢いよく操作すると、お子さまが思わぬけがをする恐れがあります。
- ベビーカーを押しながらリクライニング操作をしないでください。ベビーカーが思わぬ動きをする恐れがあります。
- 背もたれの角度が急に変わらないように静かに倒してください。勢いよく操作すると、故障の原因になります。
- リクライニング操作をするときは、必ずリクライニングレバーを握って操作してください。リクライニングレバーを使わないで操作すると、故障する恐れがあります。

- ① リクライニングレバーを握りながら、背もたれを希望の角度にしてください。リクライニング角度は4段階の調整ができます。
- ② リクライニングレバーから手を離してください。背もたれが固定されます。



ハンドルの使い方

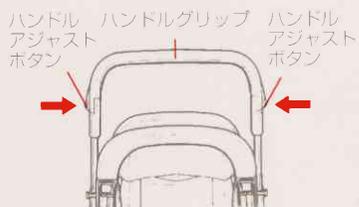
ハンドルは、保護者の方の身長にあわせて高さを調整できます。また、背面位置と対面位置の切り替えができます。

⚠ 注意

- ベビーカーを押しながら、ハンドルの高さ調整およびハンドルの向きの切り替えをしないでください。ベビーカーが思わぬ動きをする恐れがあります。
- お子さまを乗せたままハンドルを切り替えるときは、お子さまの動きに十分注意してください。ハンドルとアームレストの間にお子さまが手や足をはさみ、けがをする恐れがあります。

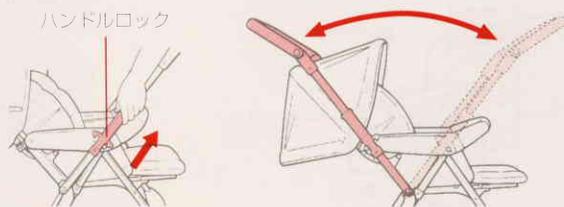
【ハンドルの高さを調整するとき】

- ① 左右のハンドルアジャストボタンを同時に押しながら、ハンドルグリップの角度を変えてください。
- ② ハンドルアジャストボタンから手を離してください。ハンドルグリップがロックされます。
- ③ ハンドルグリップがロックされたか確認してください。



【ハンドルの向きを切り替えるとき】

- ① 左右のハンドルロックを同時に引き上げ、そのままハンドルを反対側に倒してください。
- ② ハンドルロックから手を離してください。ハンドルがロックされます。
- ③ ハンドルがロックされたことを前後にハンドルを動かして確認してください。



シートベルト(股ベルト・腰ベルト)の使い方

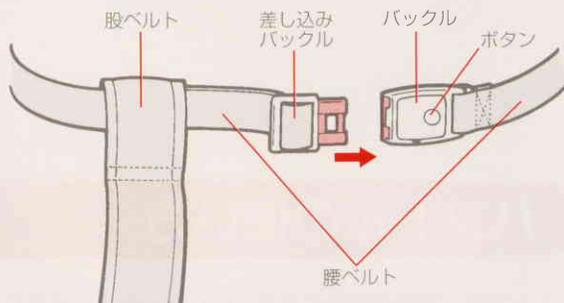
股ベルトと腰ベルトをあわせてシートベルトと呼びます。シートベルトは、お子さまの成長にあわせて長さを調整できます。

警告

- お子さまを乗せるときは、たるみがないように必ずシートベルトを締めてください。シートベルトを締めなかったり、たるんでいる場合、お子さまの抜け出しや立ち上がりなどで、ベビーカーから落ちる恐れがあります。
- 破れ、ほつれの発生したシートベルトは使用しないでください。そのまま使用するとシートベルトが切れてお子さまがベビーカーから落ちる恐れがあります。
- シートベルトを締めていても、万一のお子さまの抜け出しや立ち上がりには十分ご注意ください。
- 腰ベルト、差し込みバックル、股ベルトは確実に取り付けてください。取り付けが不完全な場合、シートベルトがはずれてお子さまがベビーカーから落ちる恐れがあります。
- 腰ベルトは先端まで3cm以上、股ベルトは先端まで5cm以上残してください。先端までの長さが短いと、シートベルトがはずれてお子さまがベビーカーから落ちる恐れがあります。

【シートベルトの締め方】

- ① 差し込みバックルを、股ベルトに通してください。
- ② 差し込みバックルを、バックルに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- ③ シートベルトがはずれないことを確認してください。



【シートベルトのはずし方】

- ① バックルのボタンを指で押し込み、そのまま差し込みバックルを抜き取ってください。
- ② 差し込みバックルを股ベルトから抜いてください。

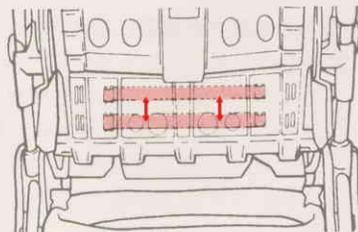
【シートベルトの取りはずし方】

- ① 差し込みバックルとバックルから腰ベルトを抜き取ってください。
- ② 背もたれの後ろから腰ベルトを引き抜いてください。
- ③ 座面の裏から股ベルトを引き抜いてください。

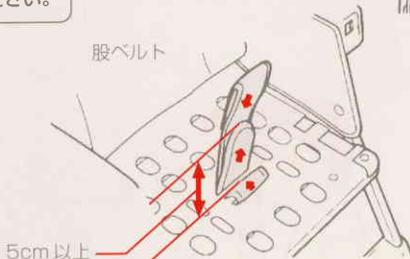
【シートベルトの取り付け方と長さの調整】

- ① 腰ベルトを背もたれ後ろの上下どちらかのベルト穴に通してください。
- ② 差し込みバックルを腰ベルトに取り付けてください。
- ③ 股ベルトを座面に取り付けてください。

腰ベルトの取り付け位置



お子さまの成長にあわせて長さを調整してください。



足のせの使い方

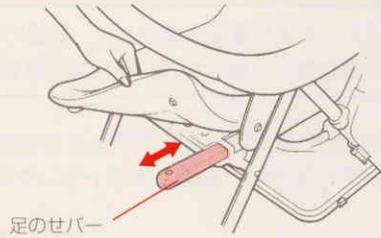
足のせを使用すると、お子さまが楽な姿勢で寝ることができます。

【足のせの使い方】

左右の足のせバーを「カチッ」と音がするまで引き出し、シート裏のホックを足のせバーのホックにとめてください。

【足のせのしまい方】

シート裏のホックを足のせバーのホックからはずし、足のせバーを「カチッ」と音がするまで座面の中に押し込んでください。



折りたたみ方

⚠ 注意

何か引っかかっていたり、はさみ込まれている感じが合った場合、折りたたむのをやめて原因を調べてください。無理に折りたたむと、部品またはベビーカーが破損する恐れがあります。

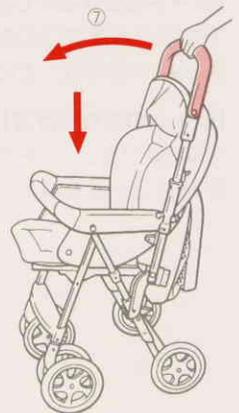
- ① 8ページ「日除けの取り扱い方」を参照して、日除けをたたんでください。
- ② 8ページ「買い物カゴの取り扱い方」を参照して、買い物カゴのフックをホルダーにかけてください。
- ③ 10ページ「リクライニングの使い方」を参照して、背もたれを止まるまで立ててください。
- ④ 10ページ「ハンドルの使い方」を参照して、ハンドルを背面位置にしてください。また、ハンドルグリップをまっすぐにしてください。
- ⑤ 9ページ「キャスターの使い方」を参照して、キャスターを背面位置の正しい位置にロックしてください。



- ⑥ 左右の開閉ロックを「カチッ」と音がするまで、つま先で押し下げてください。



- ⑦ ハンドルグリップを持ち上げながら、前方向に力を加えてください。ベビーカーが折りたたまれます。



保管のしかた

⚠ 注意

- 火の近く、および夏期の車内など、高温になる場所には保管しないでください。故障や変形の原因となります。
- 荷物を重ねたり、圧力が加わる状態で保管しないでください。故障や変形の原因となります。

直射日光を避け、湿気が少なく雨やほこりのかからない場所に立てて保管してください。屋外で保管する場合は、カバーをかけてください。なお、車のトランクに入れて運ぶ場合は、買い物カゴを下にして寝かせてください。

日常のお手入れ

●車体の清掃について

⚠ 注意

車体の清掃に中性洗剤以外のものを使用しないでください。部品の変質、劣化の原因となります。

車輪、プラスチック部品、および金属部品の汚れは、水を含ませてよくしぼった布でふき取ってください。

ひどい汚れは薄めた中性洗剤を含んだ布でふいた後、水を含ませてよくしぼった布で数回ふき取ってください。

●縫製品の洗濯について

⚠ 注意

- 漂白剤や漂白剤入り洗剤は使用しないでください。
- シートは、短時間で洗い上げてください。長時間のつけ置きは色落ちの原因となります。
- シート、日除け、アームレストカバー、股ベルト、腰ベルトは、製品の特性上若干色あせすることがあります。

【シートの洗濯】

シートは洗濯機で丸洗いできます。
40℃以下の温度の弱水流で洗って、十分にすすいで軽く脱水し、その後、形を整えて平干ししてください。

【日除け、アームレストカバー、シートベルトの洗濯】

40℃以下のぬるま湯で、ブラシまたはスポンジで軽く洗い、十分にすすいで乾いた布で水分をふき取ってください。その後、陰干ししてください。

●シートの取りはずし・取り付け方

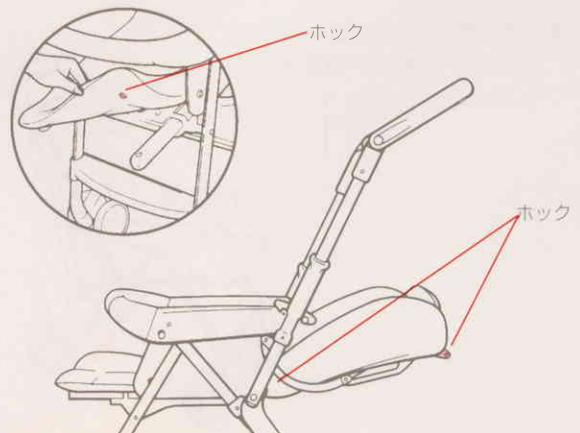
事前に、10 ページ「リクライニングの使い方」を参照して、背もたれを一番寝かせた位置まで倒してください。

【シートの取りはずし方】

- ① 左右3ヶ所ずつのホックをはずしてください。
- ② シートを持ち、上に引き抜いてください。

【シートの取り付け方】

- ① 背もたれにシートをかぶせてください。
- ② 左右3ヶ所ずつホックをとめてください。



●点検について

⚠ 警告

車体の破損、異常、シートおよびシートベルトの破れ、ほつれを発見した場合、ただちに使用を中止し、お客様相談室にご連絡ください。そのまま使用しますと、重大な事故につながる恐れがあります。

⚠ 注意

改造や分解はしないでください。故障の原因になります。

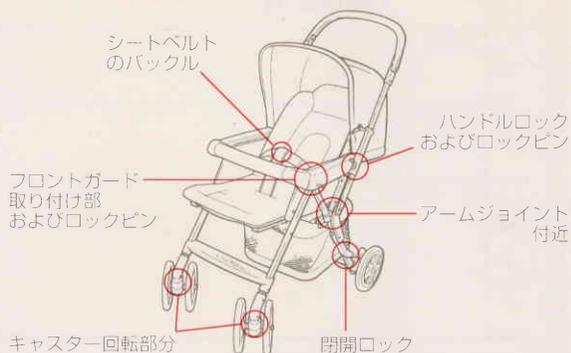
ネジ類のゆるみ、部品の破損、および作動不良がないか、適時点検してください。

●注油について

⚠ 注意

- フロントガード、アームレストに油を付けしないでください。お子さまがなめる恐れがあります。
- 下記のイラストに示す箇所には絶対に注油しないでください。作動不良を起こす原因となります。

きしみ音が発生したり、ベビーカーの作動が鈍く感じられたら、その箇所に少量の潤滑油を注油してください。泥や汚れは、あらかじめよくふき取ってください。



なお、お手入れ・点検の際に取りはずした部品は、そのままにしないで、必ず正しく取り付けてください。

オプション品(別売)

レインカバー
FU型



雨の日の外出や出先での急な雨、風の日などにお使いください。

収納カバー
TF型



玄関や屋外に保管するときにかけてください。